

< 白金標準先物、MACD の転換待ち >



(出所：オアシス)

先週の雇用統計の発表前で 4083 円まで急落し、消費者物価指数 (CPI) の発表で 3982 円まで白金標準先物は急落している。通常であれば経済指標が好転する内容であれば、景気商品は買われるのが常であるが、今回の白金標準先物は景気回復が期待される中で売られ続けている。

特に 5 月 11 日の 4 月の求人件数が史上最高の 812 万件を発表された事を機に、高値 4447 円から下落を始め、17 日 JM 社の供給過剰予想、19 日のイエレン財務長官の法人税引き上げ発言や FOMC 議事録公開における数名のメンバーによるテーパリングの協議開始の発言、ベージュブックでの景気加速の指摘に雇用統計、CPI と下値追いを続けている。

逆に同時期には金標準先物は金利低下に伴い上昇を続けるなど、テーパリングに対するリスク逃避は白金売りで対応しているのは明らかであると思われ、16 日の FOMC 以降は金利上昇の金売り：白金買いの巻き戻しが起こる確率が高まるのではないかと。

(2021 年 6 月 13 日記載)

<テクニカル>

MACD では、依然と MACD とシグナルは下落を続けている。しかし MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムは、MACD の下げ渋る展開から弱気の域で縮小する動きを示しており、MACD がシグナルを上回るクロスを待って新規買いを行うのが妥当に思える。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロインオンス) : 676,983 (前週比-4,918)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 74.55 (前週比-0.20)